

この 1 年を振り返って

2021 年、皆さんにとってはどのような年でしたか。

世界的にはコロナの蔓延、香港やミャンマー（旧ビルマ）での庶民への弾圧、日本ではコロナ禍での東京オリンピックの開催、そして首相の交代・総選挙での与党の過半数の獲得、等がありました。

私にとっても、仕事の面で大きな変化がありました。3 月で、5 年間（檜葉町 4 年・大熊町 1 年）勤めた福島県任期付職員を退職しました。5 月からは双葉町コミュニティセンターでの休日の日直について、非常勤で勤務しました。11 月からは、震災語り部をしている福島県東日本大震災・原子力災害伝承館で、シアターの案内を週 4 日間非常勤の仕事についています。

伝承館には、9 月まではコロナで修学（研修）旅行が中止になったこともあって、11 月からは多くの中・高校生が来るようになりました。アンケートでも、「原発事故について改めて知ることができた」「福島がまだ復興していないことを知った、また来たい」など多くのことが書かれています。若者たちに原発事故について伝承できることに、やりがいを感じています。土木の仕事からサービス業に変わって、自分にはサービス業が向いていることに、72 歳になってようやくわかりました。

4 月から 10 月までは何十年ぶりかの自由な時間があつたので、日本大学通信教育部に入学して、歴史学を専攻しています。卒論では、「原発建設の反対運動（地域は未定）」について書くつもりです。本当はスクーリングで東京へ通わなければならないのですが、コロナ禍のためにほとんどの授業がオンデマンドや Zoom になりました。オンデマンドや Zoom を操作できるようになるために、多大のエネルギーを割きましたが、コロナ禍のお陰で東京へ行かないで助かりました。

コロナ禍では、福島県も 8 月には、新規感染者が 1 日に 100 人近くになる日もありました。県も福島県への帰省や県外への移動の自粛を呼びかけました。福島県は、感染者は原則宿泊療養でしたが、宿泊所が足りなくて、自宅療養にもなりました。ちなみに、ワクチン接種については、檜葉町は日時指定でした。その日時に都合が悪い人のみが役場に電話をして、予約をする必要はありませんでした。

オリンピックでは福島県の都市ボランティアに応募して、研修を受けました。結局あづま総合運動公園（福島市）で予定されていた野球とソフトボールが無観客試合になって、活動は中止になりました。後からボランティア用のユニフォームや帽子・靴等が届けられました。

今年は 3・11 からまる 10 年の節目の年でした。10 年経っても、帰還した住民は、富岡町が約 15%、浪江町が 10.9%、双葉町が 0%（以上 11 月末）、大熊町が 3.4%（10 月末）です。被災者の生業や学校生活を考えると、この 10 年はやはり長かったです。



【夜ノ森のイルミネーション（富岡町）】



【天神岬のイルミネーション（檜葉町）】

年賀状は辞退させていただきます。「双葉通信新年号」でお会いしましょう。

福島県双葉郡檜葉町

メールアドレス p-mia08@outlook.jp